

「 装飾技法を利用した陶板でモザイク画を作る 」

コース・専攻：総合芸術コース美術・工芸専攻 29 期

グループ名：グループ黎明

メンバー：佐久間、高田、辻堂、濱西、藤原、山本

趣旨 1 人では完成困難な、多人数でしか構成できないような作品作りとして、モザイク画に挑戦した。

目的 入学するまで作陶経験の無かった我々が、グループ学習の中で様々な装飾技法を試して習得することで、日常使っていた器や美術館などで見る陶芸作品を、これまでと違った目線で見たり、一人でも陶器を作ることができるようになって、陶芸への楽しみを広げる。

活動内容 目指すモザイク画には Photo mosaic が発想の根底にある。

メンバーの撮影したシルバーカレッジ校舎の写真をもザイク画の元画像とした。

その大きな画像を 5 cm 角で 144 枚に分割し、ランダムに 1 人 24 枚担当した。

それぞれのピースの表現手法は個々に任せることで、メンバーによる個性のコラージュとなって、個性のぶつかり合った作品となることを期待した。

技法は、

A：たたら板への彫り込みや土の盛上げをし、色化粧土で彩色。

B：ヒマワリの花のイラスト画を 3D プリンターで作った印花で刻印し、色絵具で彩色。

C：写真画像を 3D プリンターで作った印花で刻印し釉薬の塗り込み、拭き取り、重ね掛けによる着色。こうした技法を、メンバーが夫々の陶板で表現した。出来上がったピースを貼り付けると、明るい色や渋い色合いの陶板が隣り合ったりして、筆で描く絵画とは違った面白さが出たと思っている。

